

大隈重信
記念館
企画展

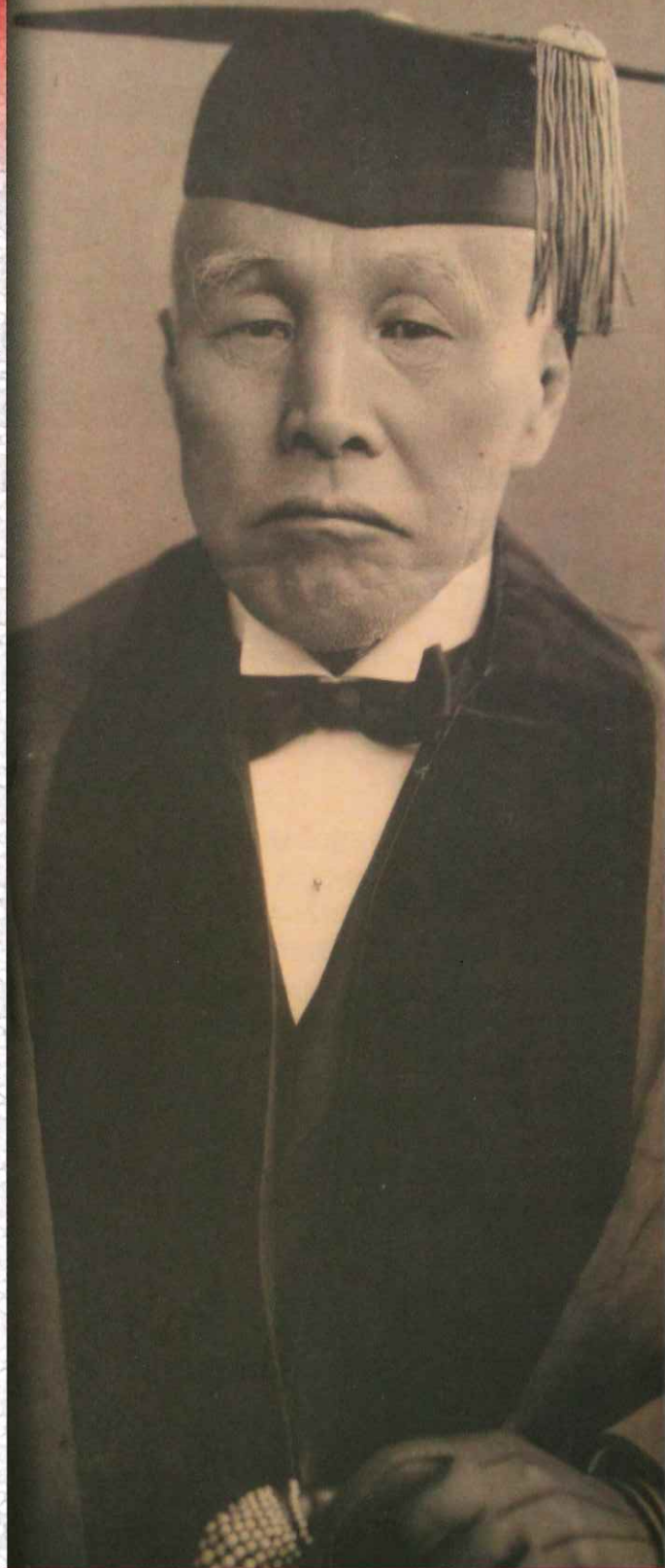
早稲田大学創設者

大隈重信



津田梅子

津田塾大学創設者



 大隈重信記念館

会場●大隈重信記念館 2階企画展示室

【入館料】

大人 : 330円 (20人以上の団体は220円)

小・中学生 : 160円 (20人以上の団体は110円)

主催 ● 佐賀市、佐賀市大隈重信記念館

協力 ● 早稲田大学図書館、早稲田大学歴史館、津田塾大学津田梅子資料室、外務省外交史料館、国立国会図書館、佐賀市教育委員会 (順不同)

令和5年
2/21(火) ▶ 3/21(火・祝)

9:00~17:00 (入館は16:30まで) ※期間中は休館日なし

新型コロナウイルス感染拡大防止対策への取り組みにご協力をお願いいたします。感染拡大状況によっては臨時休館する場合もございます。



大隈家訪問の米国女性達(大隈重信夫妻他外国女性と日本女性4名他) 1912(大正元)年11月2日(早稲田大学歴史館蔵)

大隈重信記念館 企画展

早稲田大学創設者

津田塾大学創設者

大隈重信と津田梅子

令和5年
2/21(火)▶3/21(火・祝)

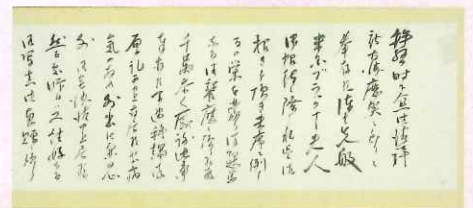
9:00~17:00 (入館は16:30まで) ※期間中は休館日なし

2024年度、新五千円札の肖像が津田梅子となります。女子教育において黎明期であった明治初期、津田梅子は真の女性の自立のためには、女子高等教育機関の創設が不可欠と考え、1900(明治33)年9月14日、日本初の私立女子高等教育機関である女子英学塾(現 津田塾大学)を創りました。

蘭学寮や蕃学稽古所(致遠館)の教師であった大隈重信は、「殊に教育は我輩の嗜好」と語り、日本の女子教育発展のための留学生を支援し、女子高等教育機関の創設・運営などに力を貸しました。

女子教育に対し無理解と偏見があった当時、大隈重信はどのように若き教育者を支援し、津田梅子はどう応えたのでしょうか。

本展覧会では、大隈重信と女子教育の支援を軸に、大隈と津田梅子の関わりや二人の女子教育論、女子英学塾を紹介します。



津田梅子書翰 大隈重信 大隈綾子宛 1912(大正元)年12月2日(早稲田大学図書館蔵)



〈一番町〉校舎にて 女子英学塾 1901(明治34)年3月29日(津田塾大学津田梅子資料室蔵)

職員によるギャラリートーク

当館の館長と学芸員によるギャラリートークです。展示だけではお伝えしきれないエピソードなどを、資料の解説とともに楽しく紹介します。お気軽にご参加ください。

[日時] 3月11日(土) 14:00~

大隈重信記念館

〒840-0054 佐賀県佐賀市水ヶ江二丁目11番11号
TEL 0952-23-2891

<https://www.okuma-museum.jp>

「佐賀市 大隈重信記念館」で検索



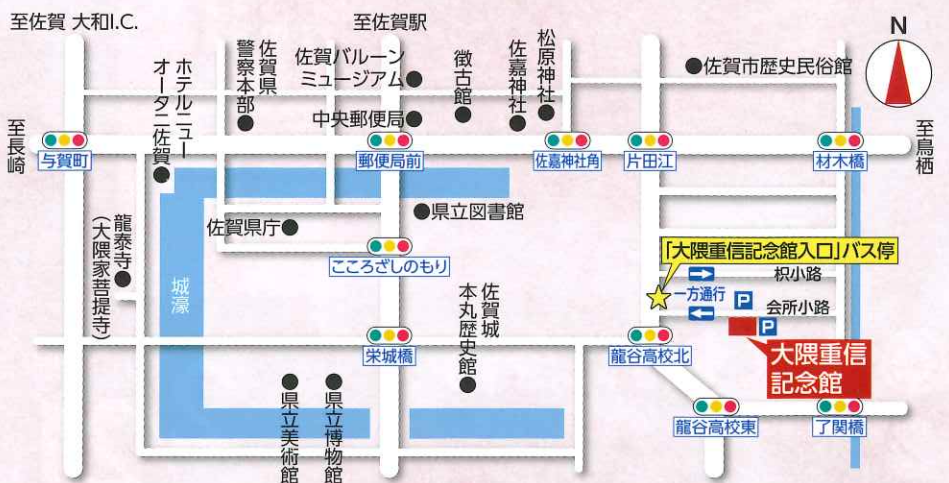
↑HPIはこちらから



↑FBはこちらから

【交通アクセス】

- 佐賀駅バスセンターより[20][21][22][23]「大隈重信記念館入口」バス停下車、会所小路を東へ徒歩5分
- 長崎自動車道佐賀大和ICから車で30分
- 佐賀城本丸歴史館から徒歩10分
佐賀市歴史民俗館から徒歩10分
- 50台程度(大型バスも数台可能)



大隈重信没後100年プロジェクト

大隈重信100年アカデミア

大隈重信特別番組「明治のイノベーター 大隈重信」が佐賀県公式YouTubeで公開されています。ぜひご覧ください。



▲特別番組動画はこちら